



2015年3月期 決算説明会

2015年5月8日
日本ユニシス株式会社

全体総括

決算概要

中期経営計画（2012→2014）の総括①

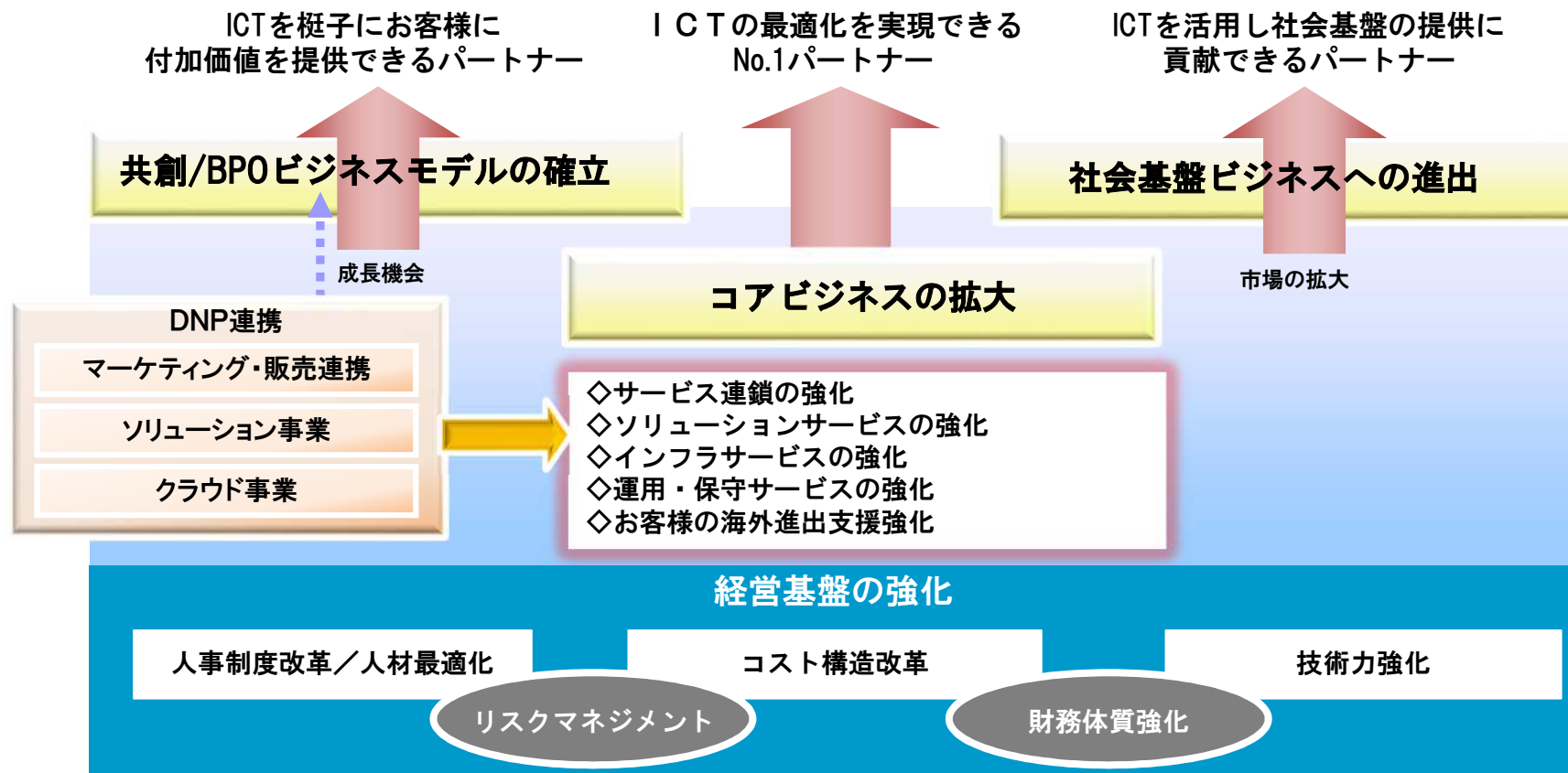
Foresight in sight

重点施策

①コアビジネスの拡大

②新ビジネスへの挑戦 共創／BPOビジネス・社会基盤ビジネスの確立

③経営基盤強化



中期経営計画（2012→2014）の総括②

Foresight in sight

戦略	主な成果	課題
<p>①コアビジネスの拡大 ICTの最適化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹システム・ソリューションの展開 金融:BankVision[®]、SBI21 流通:CoreCenter[®] 大手航空基幹システム安定稼働 など ●クラウドフェデレーションサービスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●業種を越えた先駆的なビジネス提案の強化 ●クラウドファーストへの対応
<p>②新ビジネスへの挑戦 共創ビジネス 社会基盤ビジネス の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新規ビジネスの創出 ◇決済関連 電子バリューカード、国際ブランドプリペイド ◇デジタルマーケティング関連 決済連動型マーケティングeXLOサービス、ビッグデータ分析サービス ◇IoT関連 無事故プログラムDR[®]、smart oasis[®] ●地域関連ビジネスの展開 地域医療連携 地域情報・ショッピングサービス「れじおん[®]」 	<ul style="list-style-type: none"> ●異業種知財を活用し、新たなサービスを早期に創出 ●新規事業の早期高収益化 ●新規事業を支える制度整備
<p>③経営基盤の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●人材最適化とコスト構造改革 ●ビジネスリスク管理強化により不採算案件を抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業／サービスを創出・実行する人財強化

中期経営計画（2012→2014）期間の業績推移

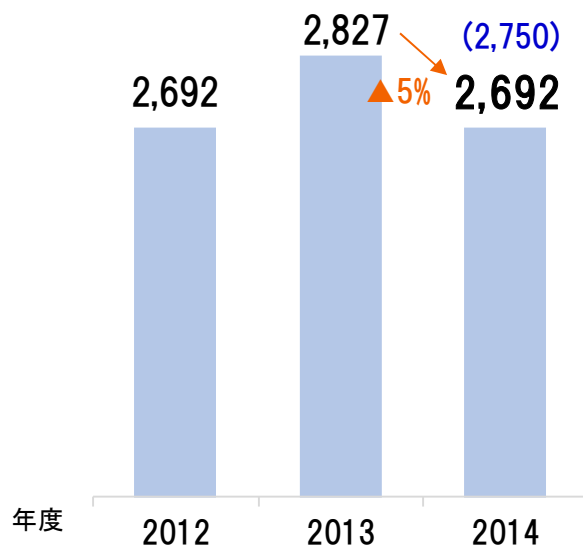
Foresight in sight

- ✓ 売上高は、2014年度は製品販売の減少により減収
- ✓ 営業利益は、サービスの利益改善等により3カ年連続増益
- ✓ 当期純利益は増益を確保し、ROEは10%に改善

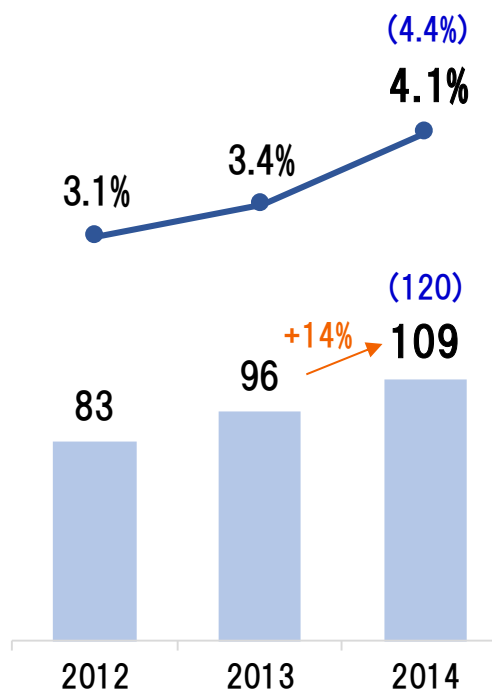
(億円)

売上高

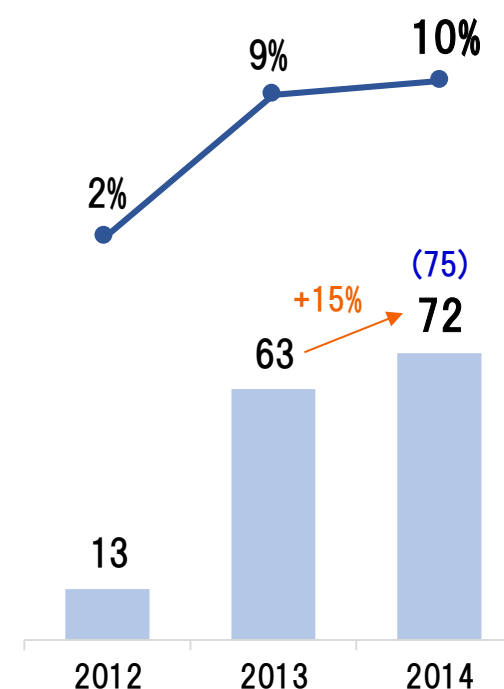
注：()カッコ内は予想数値(3Q時点)



営業利益／
営業利益率



当期純利益／
ROE



✓ チャレンジと変革を実行するために組織改編、および実行施策を開始

課題	重点戦略	2015年度実施戦略
業種横断 サービス強化	チャレンジ デジタルイノベーション ライフイノベーション	<ul style="list-style-type: none">●業種業界の知財を活用し、デジタルビジネスを最速・最適に実現するサービスとプラットフォームを提供●ビジネスエコシステムの推進●成長領域を牽引するインキュベーション機能の強化
新事業創出強化 と収益化		
構造改革	変革 ビジネスICT プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none">●クラウドファーストやサービスの工業化により、最速・最適にサービスを提供する構造改革を実施
人財変革	企業風土・人財改革	<ul style="list-style-type: none">●人財開発（変革リーダープログラム／スキル変革研修）開始

中期経営計画の推進体制（2015年4月）

Foresight in sight



自ら市場を予見し、
業界を横断するビジネスを創造する

業種横断で成長領域を牽引する
全社プロジェクトの設置

決済イノベーション
プロジェクト

マーケティングイノベーション
プロジェクト

地方創生チャネル
プロジェクト

市場や顧客への接点である
営業を一本化し、
横断提案を活性化

業種業界をまたがる
新たなビジネスを創出する
エコシステムの推進

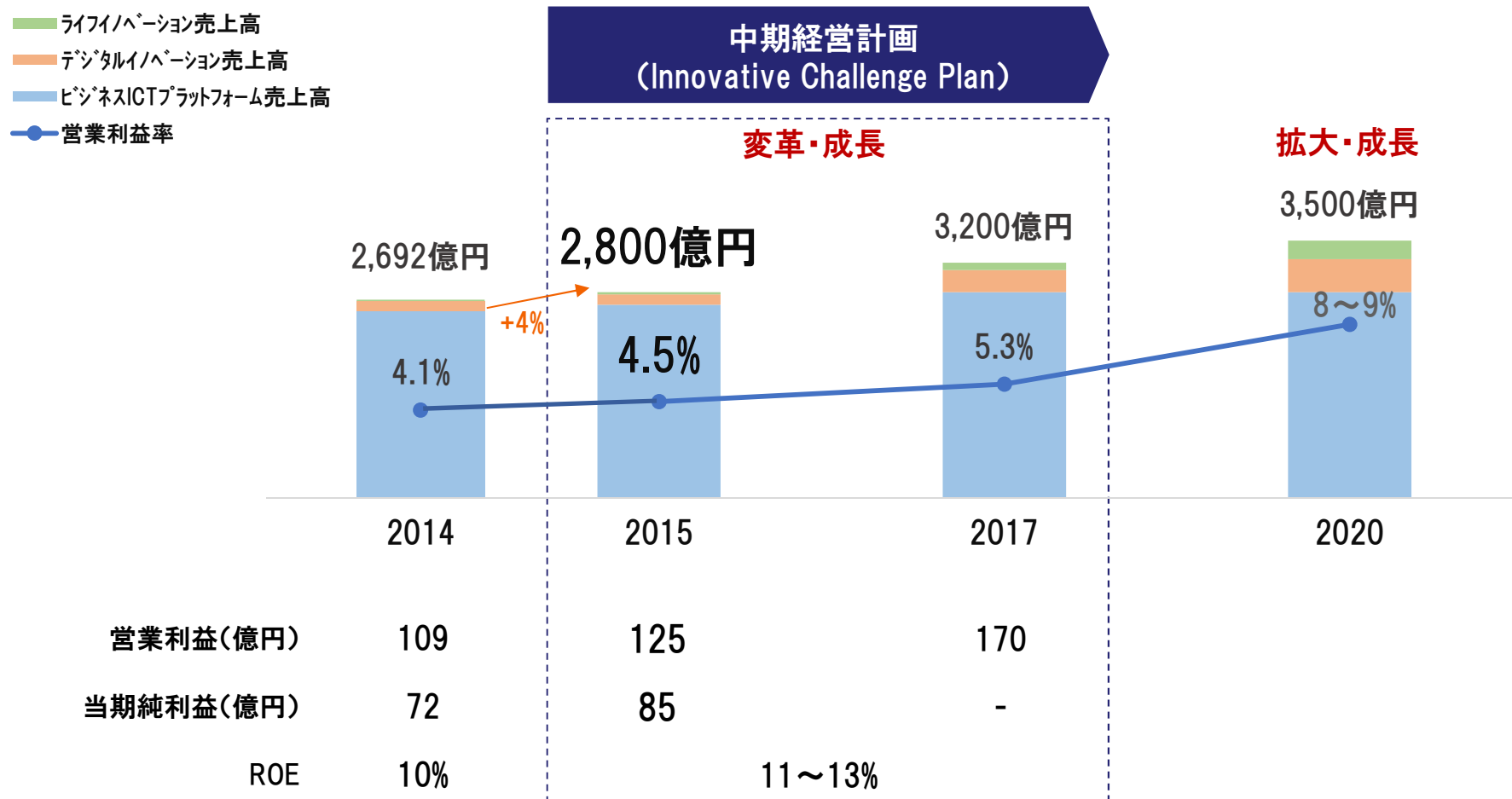
市場変化に柔軟に対応できる
ユニット制を導入

業種横断の知財活用を
推進するために
リソースマネジメントを一本化し
構造改革を実施

新技術を迅速に顧客に
提供するため、実行部門と
新技術エンジニアを一体化し、
変革スピードを加速

2015年度業績予想

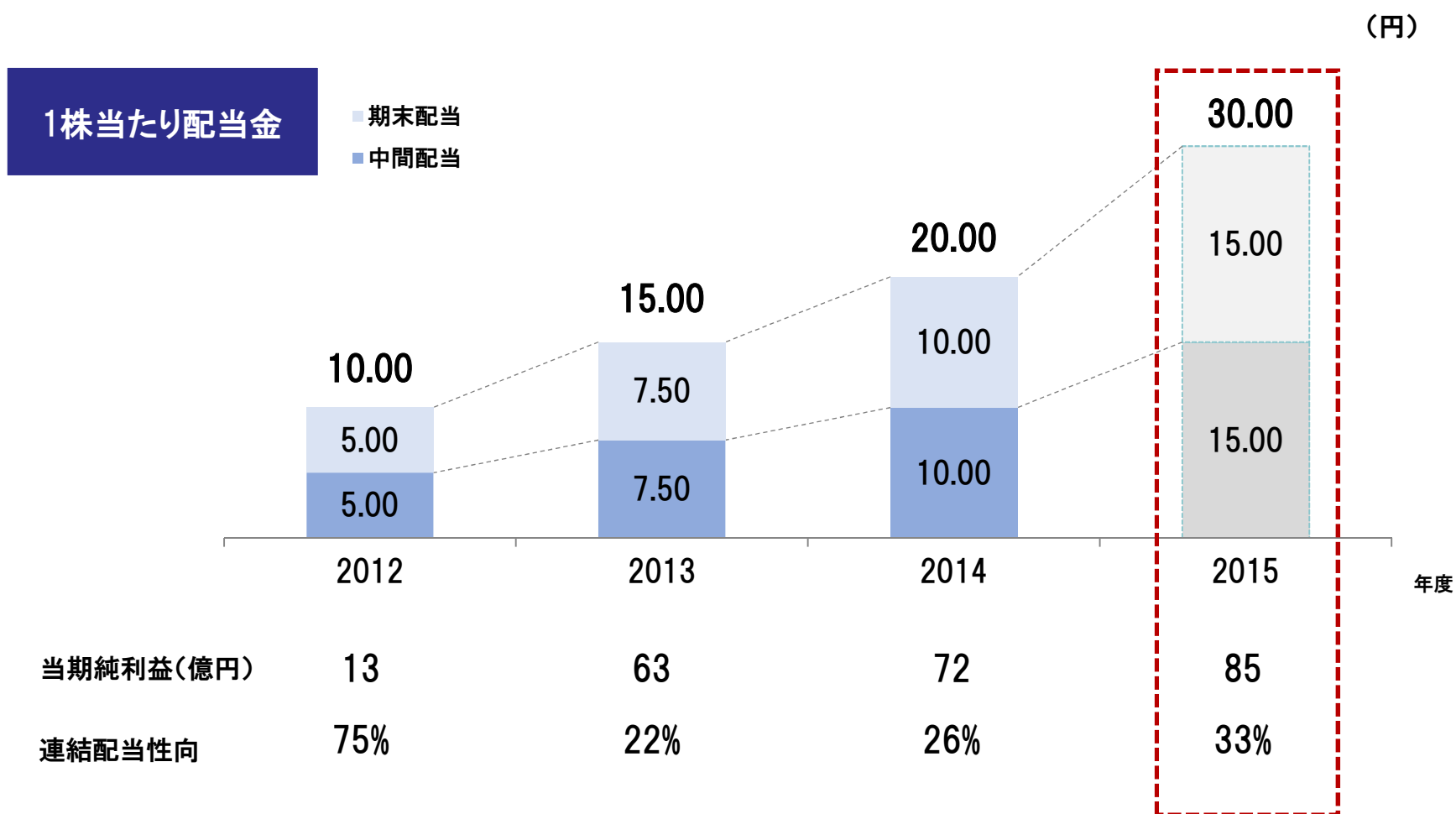
- ✓ 売上高は、成長戦略の進展により増収見通し
- ✓ 営業利益は、増収および収益性改善により増益を見込む
- ✓ 当期純利益は過去最高益を見込む



株主還元

Foresight in sight

- ✓ 2014年度：年間配当 20円予定（5円増配/配当性向26%）
- ✓ 2015年度：年間配当 30円予定（10円増配/配当性向33%）



全体総括

決算概要

製品販売減により前期比減収も サービスの利益改善等により営業増益

(単位:億円)

【ご参考】

	2015/3期 実績	2014/3期 実績	前期比 増減
売上高	2,692	2,827	▲135 (▲4.8%)
営業利益	109	96	+13 (+14.1%)
当期純利益	72	63	+9 (+14.9%)
受注高	2,635	3,098	▲463 (▲14.9%)
受注残高	2,102	2,159	▲57 (▲2.6%)

<決算のポイント>

- **売上高**
製品販売減により減収
- **営業利益**
サービスの利益改善等により増益
- **当期純利益**
有価証券売却益も寄与し増益
- **受注高・受注残高**
前期に長期大型受注あり
受注高、受注残は減少

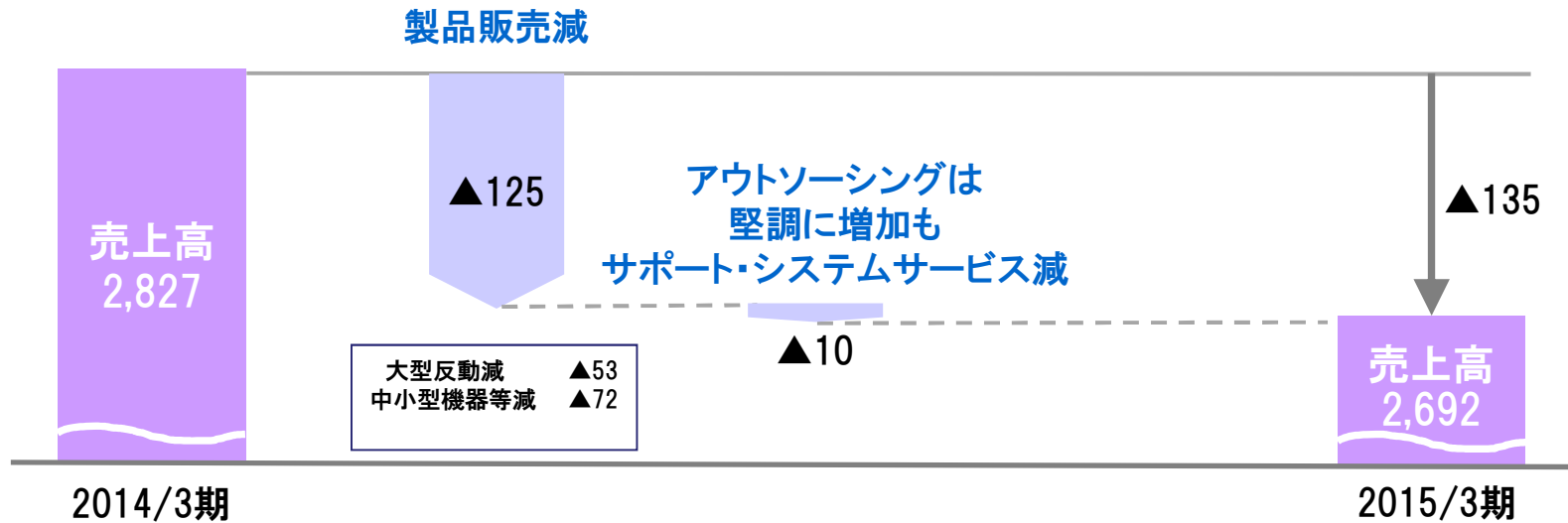
	2015/3期 予想	予想 差異
売上高	2,750	▲58 (▲2.1%)
営業利益	120	▲11 (▲9.0%)
当期純利益	75	▲3 (▲3.4%)

2015年3月期 売上高・営業利益の増減

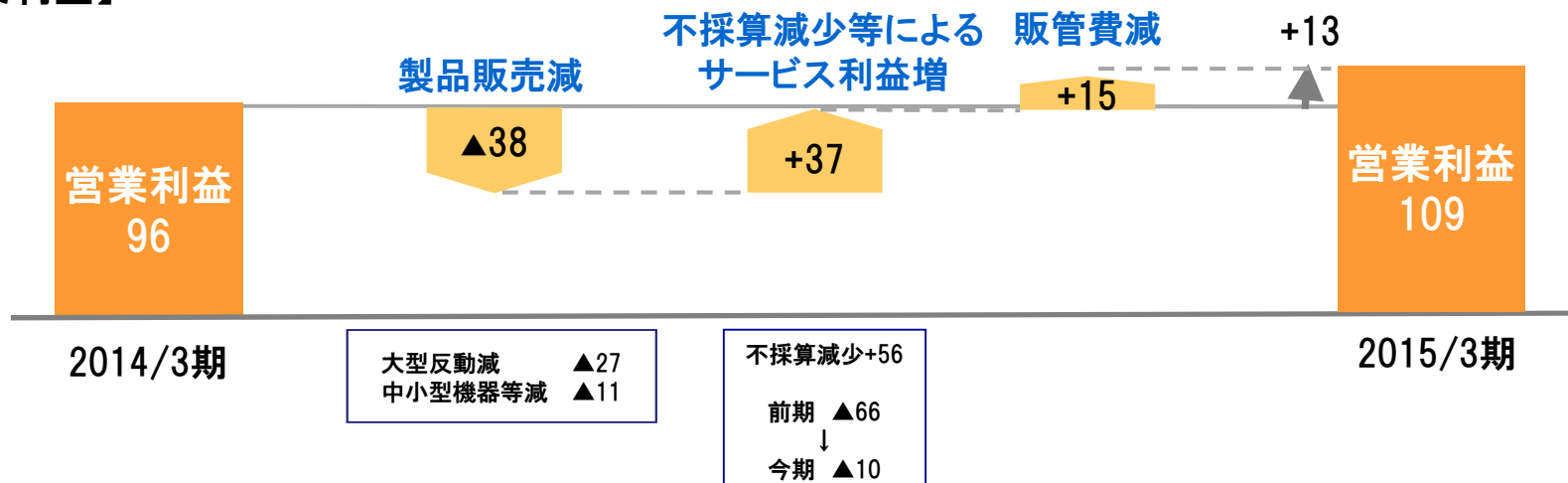
Foresight in sight

【売上高】

(単位:億円、増減は前期比)



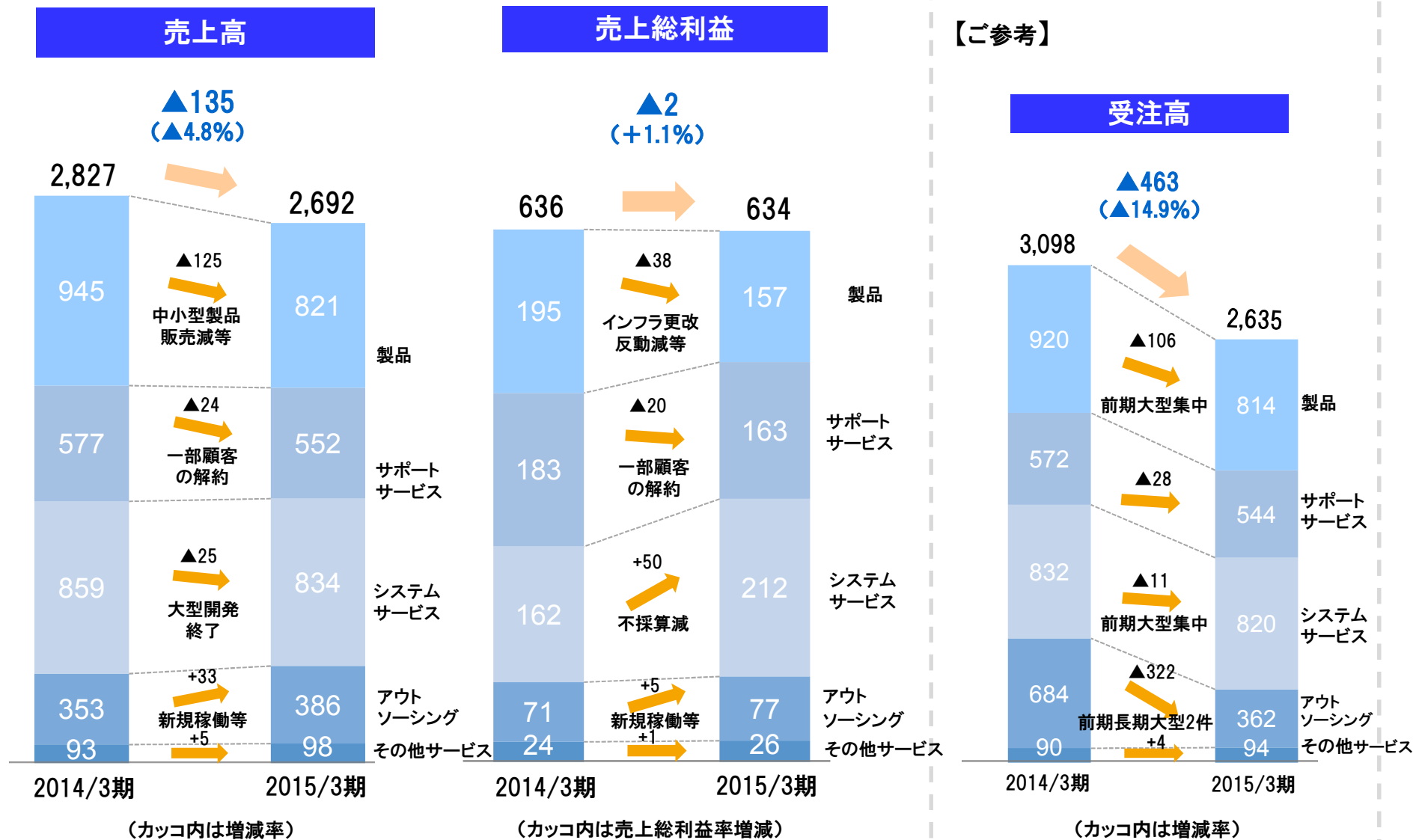
【営業利益】



2015年3月期 セグメント別の状況

Foresight in sight

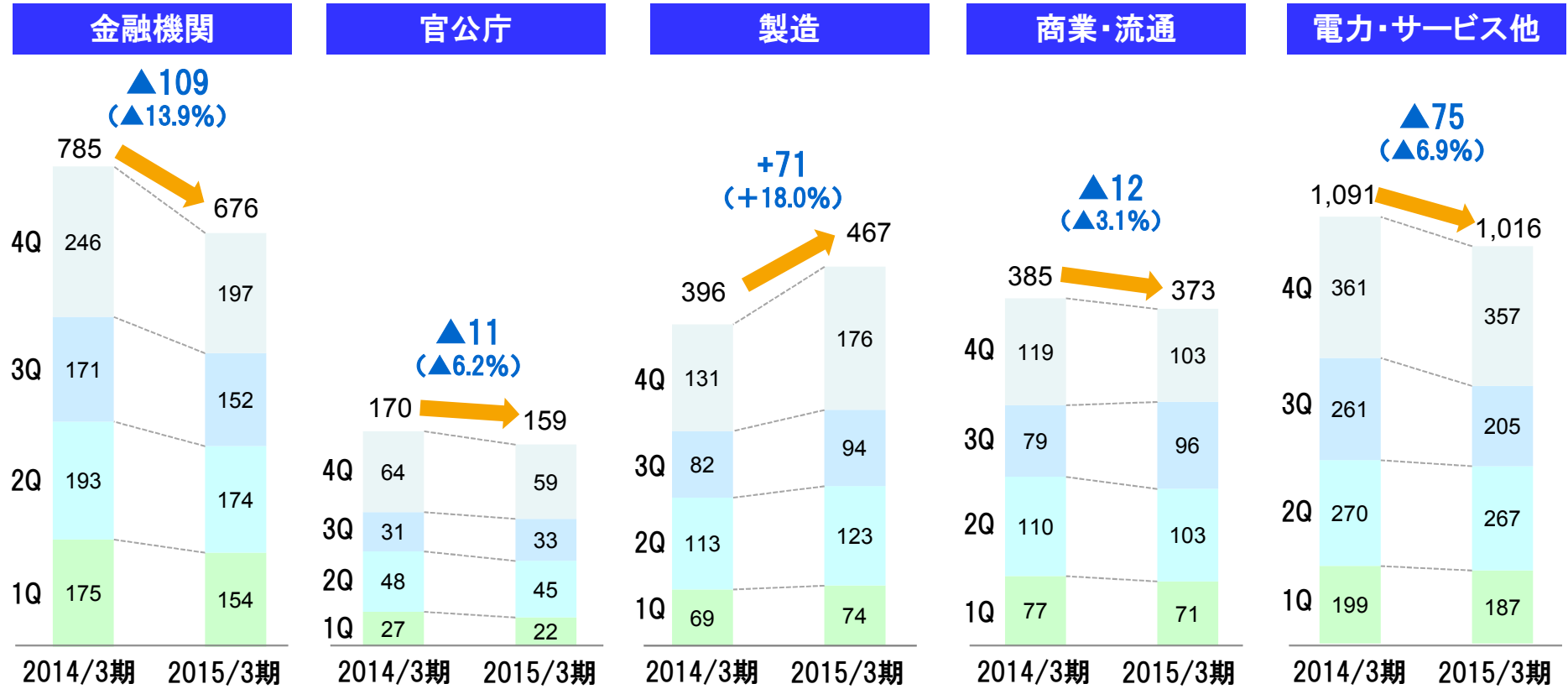
(単位: 億円)





2015年3月期 マーケット別売上高


Foresight in sight


(単位:億円)





(金融機関)
 前年大型インフラ更改あり。案件豊富で活況。


(官公庁)
 リスクを見極め慎重に案件を選別。


(製造)
 自動車産業を中心に回復傾向続く。


(商業・流通)
 マーケットは活況。DM関連の引合いは引続き活況。


(電力・サービス他)
 通信向け製品販売が減少。電力小売自由化案件活況。

2016年3月期 通期業績予想

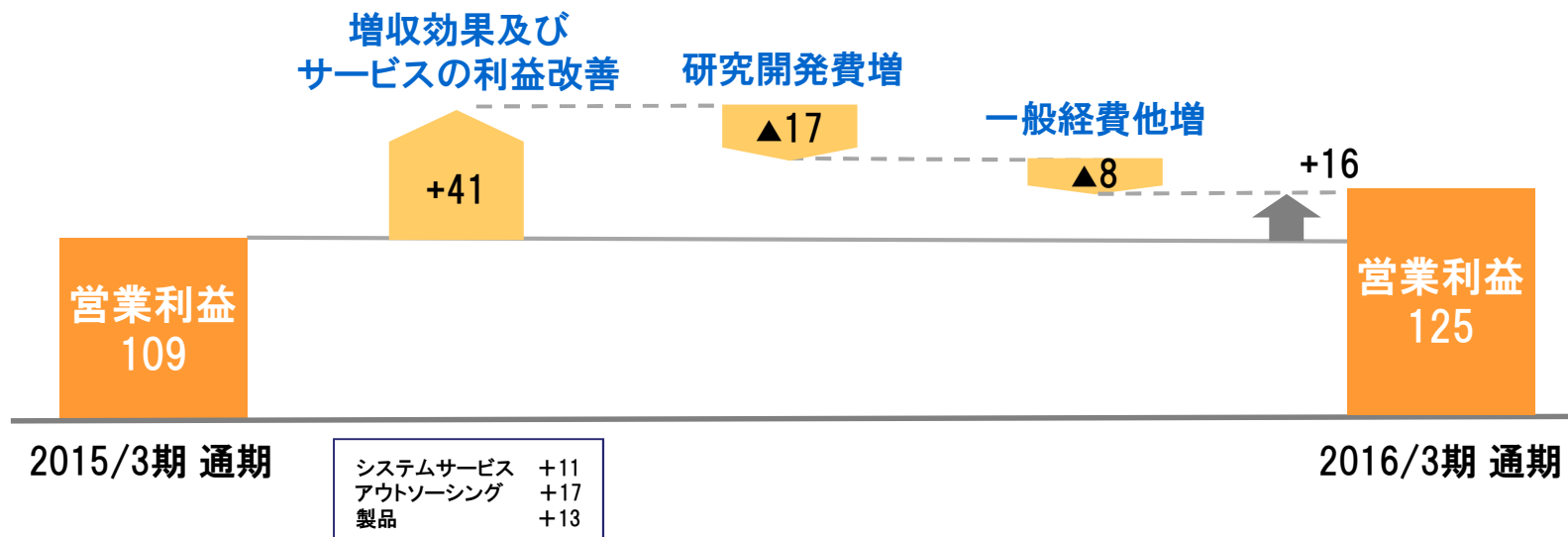
Foresight in sight

売上伸長により営業増益を予想
当期純利益は過去最高を見込む

(億円)

	2016年3月期 通期予想	2015年3月期 通期実績	前期比増減
売上高	2,800	2,692	+108 (+4.0%)
営業利益	125	109	+16 (+14.4%)
当期純利益	85	72	+13 (+17.3%)

【2016年3月期通期 営業利益の増減】

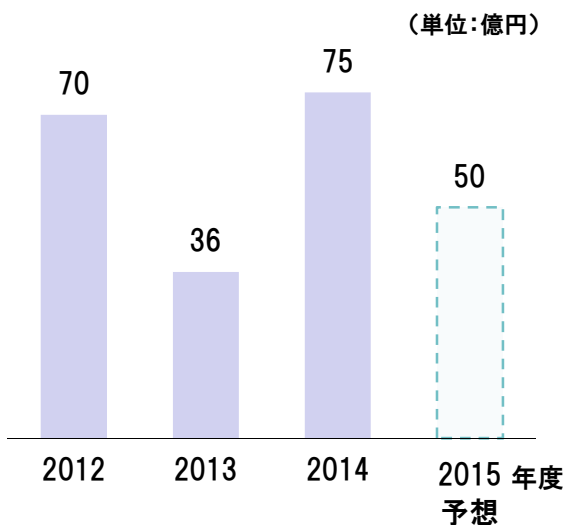


財務体質強化に向けた進捗

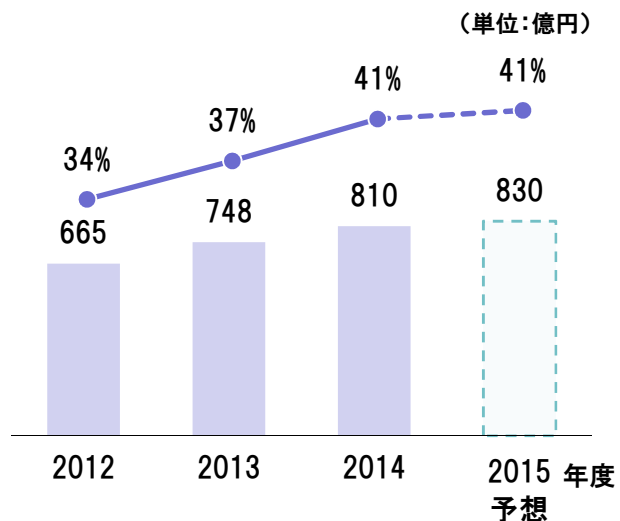
Foresight in sight

財務体質強化に関しては前中期経営計画の目標を概ね達成

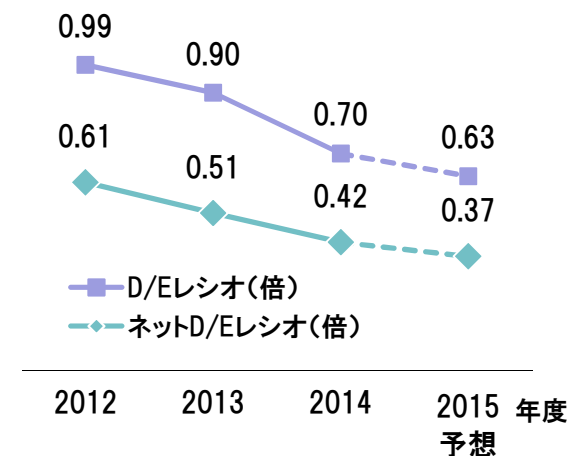
フリー・キャッシュ・フロー



自己資本

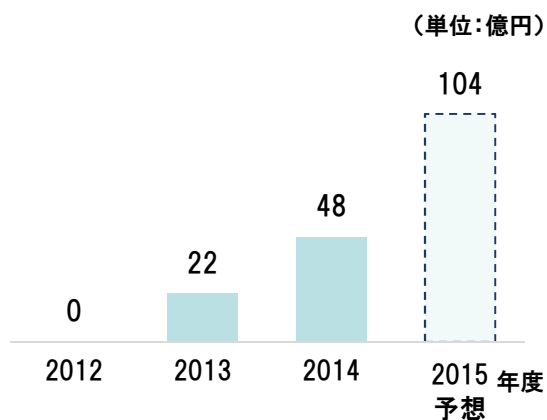


D/Eレシオ

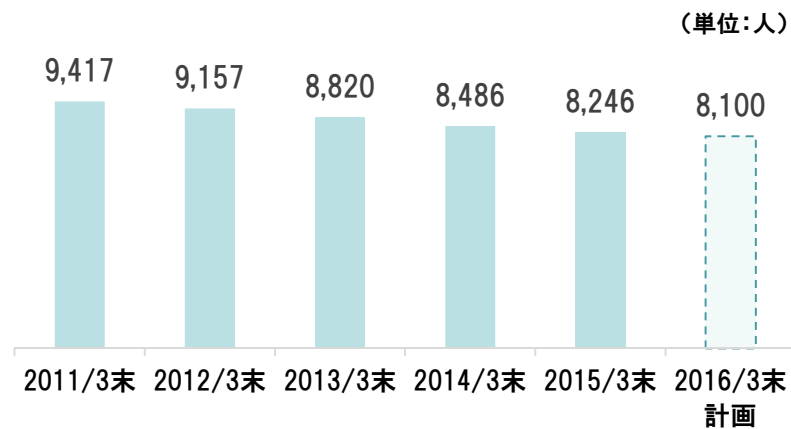


【ご参考】

DNP協業売上高



従業員数





(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。